

魅力と期待の集まる新本部整備

— 新本部における基盤技術支援の音響試験室についてご紹介 —

4月号から全12回のシリーズで始まった、「魅力と期待の集まる新本部整備」として、平成23年度開設予定の新本部整備進捗状況や強化する基盤技術支援の中から音響試験室について紹介します。

新本部の工事進捗状況

現在、新本部の建設工事は、柱、梁、床、壁の鉄筋及びコンクリート工事が5階にかけて進んでおります。また、各階の間仕切壁など内装工事を1階から進めており、設備配管、電気配線工事等についても順調に進捗しています。



図1 新本部現場建築工事状況
(全景H22.4.14撮影)



図2 外装ガラス
(H22.4.13撮影)



図3 実験室扉廻り



図4 実験室前廊下

図2は外壁部に使用する複層ガラス、図3は実験室扉廻りに設置するサイン、セメント板のモックアップにより確認をしているところです。また、図4は実験室前廊下のイメージ図です。

新本部における基盤技術支援(音響試験室)

新本部1階北側に音響試験室として残響室(図5)、結合残響室、無響室(図6)、半無響室を並べて設置します。

結合残響室では、現行の不整形残響室に替わって、矩形残響室になります。不整形残響室が材料の物性的な遮音性能を測定するのに対して、矩形残響室は建材等の実際的な遮音性の評価に適しています。結合残響室は2つの残響室の間に開口部があり、測定材料を挟み込み、部屋自体を油圧により動かして圧接させます。

また、隣の無響室との間にも開口部をもうけ、インテンシティ法による遮音性能の測定や遮音欠損の分析等もできるようになります。新しい設備により、これまで以上にJISに準拠した測定が可能になります。



図5 残響室床下



図6 無響室

(H22.4.13撮影)

さらに半無響室では、重量物や大型機器の放射騒音分析や音響パワーレベルの測定が可能になります。また、局所排気装置も設置され、内燃機や小型建設機械等の音響パワーレベル測定も可能になり、これまで応えられなかった要望にも対応できるようになります。

新拠点新本部に関してご質問のある方は、下記にご連絡下さい。

経営企画部 新拠点準備室 <西が丘本部>
山本克美 TEL 03-3909-2176
E-mail: yamamoto.katsumi@iri-tokyo.jp

平成23年度 臨海副都心青海に新本部開設